

2014年度 前期		リフレクションペーパー					
学科名	生物環境化学、電気通信工学、建築デザイン、情報、経営ビジネス						
科目名	日本国憲法						
科目区分	人間形成科目	単位数	2	開講時期	3年次		
必修・選択の別	選択科目						
担当者	柴田滋						
授業の到達目標 (シラバスから)	日本国憲法の性格と三原則について理解することによって、正義と構成の精神に基づいて論理的に思考し、国家と社会の問題に対して、憲法判例や憲法学説を検索して、客観的に判断できるようになることを目標とする。						
日程と内容	4月8日 第1回 講義案内、憲法の意義 4月15日 第2回 自然法思想と立憲主義 4月22日 第3回 近代憲法から現代憲法へ 4月29日 第4回 日本憲法史と日本国憲法 5月13日 第5回 基本的人権の性格と分類 5月20日 第6回 基本的人権の効力および制約 5月27日 第7回 包括的人権 6月3日 第8回 自由権（Ⅰ）思想、表現の自由 6月10日 第9回 自由権（Ⅱ）信教、学問の自由、経済的自由 6月17日 第10回 社会権（Ⅰ）生存権 6月24日 第11回 社会権（Ⅱ）教育権、労働権 7月1日 第12回 人権を保障する人権一参政権、国務請求権、手続き保障 7月8日 第13回 統治機構一象徴天皇、国会、内閣。裁判所、地方自治 7月15日 第14回 平和主義 国際平和主義の歴史 7月22日 第15回 定期試験 7月29日 第16回 試験問題の解説、講義のまとめ						
成績評価基準	定期試験	100%	実技				
	臨時試験		部外評価				
	報告書・レポート		プレゼンテーション				
	課題		計	100%			
	演習						
授業到達目標の達成度	日本国憲法の性格と三原則の理解については、目標を達成できたと思われる。憲法にかかわる問題についての客観的な判断力については、その基礎の取得を達成できたと思われる。						
反省点	法学の科目ではあるが、もっと人間形成科目としての色彩の強い講義内容にしたい。						
来年度の計画	来年度は、日本国憲法の目的とする基本的な価値、すなわち立憲主義、人権、平和主義について明確な知識を身につけることを目的として、授業内容を構成したい、特に、国民生活に関係の深い社会権の理解に配慮したい。						
授業評価アンケートに対するコメント	パワーポイント資料がわかりやすかったという意見が多くなってきたことは、近年力を入れて取り組んできた視聴覚教材の充実ということに一定の成果があったものと思う。説明の際に用いる擁護の選択、話し方などにも工夫して、全体的な講義のパフォーマンスを向上させるよう努力したい。						
履修登録者数	288名	定期試験 受験者数	262名	合格者数	262名	合格率	100%